

うるくの コネタ

ローカルなコネタ、
歴史ネタなどをご紹介

大嶺バス停前に市場があったってよ〜! (田原公設市場)

宇栄原2丁目の大嶺バス停前に『田原公設市場』があったそうです。

【市場付きの市営住宅(通称:下駄履きアパート)】

『田原公設市場』は8つあった那覇市公設市場の一つ。市場施設の少ない小祿地区の市民の便利と住宅難を緩和するために、市場付きの市営住宅として1965年(昭和40)に開設され1階が公設市場、2〜4階が市営住宅となっていました。地域のランドマークの存在で、地域住民からは“下駄履きアパート”と呼ばれ親しまれました。1964年8月発行の『なは市民の友』168号によると、1階の市場は開放型でデパート式の設計がされたそう。他の公設市場と違い、店舗が道に面する形になっており、当時としては最先端な雰囲気だったのではないのでしょうか。因みに、住宅部分は4畳半・3畳・居間台所の間取りで1戸あたり7.5坪の2DK。広めのバルコニー、シャワー、水洗トイレ付きだったそうです。当時としては近代的な住宅だったことが分かります。



1964年8月15日発行『なは市民の友』に掲載された建物完成図

右上、右下:2011年撮影(提供:高良広輝さん)



安室鮮魚店の安室さん。満89歳になった今でも刺身を切る腕は鮮やか。

【安室鮮魚店さんは40年ほど入居していた】

現在は田原公設市場跡からほど近い場所で営業する『安室鮮魚店』さんは、市場で40年ほど営業していたそうです。「あそこは元々、安次嶺・大嶺・鏡水で共同で使用していた場所、そこでみんな野菜や魚などを広げて売っていたの。私も魚を売っていたのよ。その後、那覇市が市場を建てる敷地として買い取ってあそこで売ってた人が市場に優先的に入居したのよ。」

【お豆腐とシーブン】 上地政己さんの記憶

「当時、お豆腐は店頭で濡れた布巾をまといまわって売られていました(食パンみたいな塊で)。お客が欲しい分を言ってから、店主が豆腐を包丁で切り分けて販売していました。単位は半斤(ハンキン)や一斤(イッキン)。“これはシーブンねえ〜”とお豆腐を切り分ける際にゴロッとこぼれた切れ端を店主がサービスしてくれることがあり、子供ながらにお使い時に得した気分になり母や祖母に報告したことを思い出します」

【刺身を包む、真っ白で美しい用紙】

「安室鮮魚店さんでは、購入した刺身を包む物はタイプライターの用紙でした。真っ白で美しい包みだったと記憶しています。この用紙のことを安室さんに聞いたところ「あーそうそう。アメリカ一紙(がみ)」を使ってたね。タイプライターの用紙で、基地から買ってたね。新聞紙くらいでちょうどよかったよ。」

【遠くからも買い物が来て大変賑わった】

田原公設市場には、魚、肉、野菜、乾物、瀬戸物、花、洋服などを扱う店が入居し(16小間あった)、当時の生活に必要なものがここで何でも揃う、と遠くからも買い物が来て大変賑わったそうです。「当時は周りに何も無かったから繁盛したねー。おかげで子どもを大学に通わせることもできたしね。」(安室さん)けれど時代と共に近隣にスーパーが出来、客足は次第に減っていったといいます。

【2011年の廃止後は更地のまま】

2011年に、建物の老朽化と早期の建替え等が難しいということ、近隣にスーパーも増え、公設市場はその役割を終えているということから市営住宅と共に廃止に。その跡地は今も更地のままになっています。



跡地は今も更地のまま



編集後記

駄菓子屋さんが
ある地域を大切に

今回も素敵なお店の皆さんにご協力いただきました。お忙しい中、取材にご協力いただき本当にありがとうございました！最近では少なくなっている駄菓子屋さんですが、うるくには地域に愛されるお店が残っています。小銭を握りしめ、目を輝かせて駄菓子を選ぶ子どもたちの姿はいつの時代

も一緒。今やキャッシュレス時代ですが、現金を持ってお店の人とおしゃべりしながら買い物するって、子どもたちにとっては良いことなんじゃないかなーと思いました。希少な駄菓子屋さんを未来に残していきたいですね！

うるくローカルプレスの「小祿(うるく)」は、【小祿、宇小祿、宇栄原、具志、高良、田原、金城あたり】としています。

URUKU LOCAL PRESS
うるくローカルプレス

WEBサイト
誌面では伝えきれない情報が満載!
<https://uruku.daikyo-k.net>

お問合せ&窓口
✉ uruku@daikyo-k.net
各SNSからのメッセージもOK!



うるくの情報発信局
『うるくローカルプレス』

編集部:那覇市宇栄原925番地 若葉荘1-3号室
運営:大鏡建設株式会社(那覇市宇小祿912-1)

人とまちの、
未来をつくる。
大鏡建設
DAIKYO CONSTRUCTION

URUKU LOCAL PRESS

うるくローカルプレス

うるくのローカルな情報をお届け!

2023年7月
vol.12

無料 TAKE FREE

懐かしさと、
ワクワク感。

懐かしさと、 ワクワク感。

駄菓子屋さんって大人にとっては懐かしく、子どもたちにとってはワクワクする場所。未来に残していきたい、地域の希なお店をご紹介します。



金城さんの 駄菓子屋さん



金城さんに会いたくなる

田原の小禄ひまわり公園そばの住宅街にある駄菓子屋さん。明るい店内には昔懐かしい駄菓子が並び、オーナーの金城さんの元気な声が迎えてくれます。
お店は今年6月で11年目ですが、その前も小禄市営団地そばの駄菓子屋で働いていたそうなので金城さんにお世話になったという人は多いのではないのでしょうか。「他人のお子さんでも叱る時は叱ってきた」という金城さん。「大人になってから金城さんに叱られたよー」ってお店に来る子どもも多いんです笑。でも大人になって奥さんや子どもと一緒に来てくれると本当に嬉しいです。そして、「いろんな子がいて楽しいですよ」とお店にやって来る子どもたちを名前呼び、話しかける様子はまるで「地域のお母さん」。懐かしい駄菓子と明るく人情味溢れる金城さんの顔が見たくて、ついふらっと寄ってしまうお店です。

金城さんの駄菓子屋さん
 ☎ 098-857-3139
 📍 那覇市田原3-9-3
 🕒 14:00-18:30
 🌞 日曜
 🚗 なし
 📱 @kinjyosan_no_dagashiya



ずらりと並ぶ駄菓子にワクワク

オーナーの金城さん

うるくのココが好き!
 やっぱり「人」が良いところ。あとはモノレールも近いし、アクセスが良いところですよ。

地元の方へメッセージ
 見るだけでも大丈夫ですので、気軽にお店に来てください!

詰め合わせセットも人気!

行事やイベント時に近隣の学校・保育園などからの注文が多い詰め合わせ。希望の金額に合わせて詰め合わせさせていただきます。金城さんこだわりの手作りリボンがポイント☆(お一人で作業しますのでご注文はお早め!)

馬がし屋



昭和レトロな可愛い空間

高良交番そばにある小さな駄菓子屋さん。コンパクトな店内は駄菓子のほか手作りの雑貨などもあり、昭和レトロで可愛い空間が広がっています。ぜんざいや農家直送の新鮮野菜もあり、親子で楽しめます。
オーナーの高良さんのご主人が駄菓子好きで小禄中学校そばで駄菓子屋をしていたこともあるそうで、温もり感溢れる建物は大工さんであるご主人の手作り。駄菓子で儲ける気はないです、と笑いながら「子どもの声がするっていいですね。子どもたちの成長が何より楽しみ。昔来てくれた子が大人になって奥さんや子どもを連れてきてくれると本当に嬉しいです」と高良さん。「昔の「いっせんまちゃー」みたいな、あんな雰囲気のお店にしていきたいなあと考えています」昔ながらの雰囲気が残る高良にある馬がし屋さん。ぜひのぞいてみてください。

馬がし屋
 📍 那覇市高良2丁目8-45
 🕒 15:00-20:00
 🌞 木・日曜
 🚗 なし



農家直送の新鮮野菜も!



昭和レトロで可愛い店内。大人も思わずワクワクしてしまいます。

駄菓子の入ったレトロなショーケースが可愛い



オーナーの高良さん

地元の方へメッセージ
 野菜や雑貨などもあるので家族で楽しんでもらえると思います。

うるくのココが好き!
 静かなところ。あとあちこちに行くのに便利だと思います!

ぶらっとうるく

何気ない、気になる、懐かしいうるくの街角歩き

那覇市小禄161付近

奥武山公園駅、小禄高校、鏡原中、小禄小、小禄病院

神通(カミミチ) 小禄ノロ殿内(ウルクヌドゥンチ)

ノロが御嶽へ向かうための道『神通(カミミチ)』(石畳道)

県道62号から森口公園方面へ上がる途中、小禄ノロ殿内(ウルクヌドゥンチ)とヌールガー跡の間を進むとすぐ右手に、細い石畳の道が現れます。この石畳道はノロが祭祀を行う際に御嶽に登るための道で『神通(カミミチ)』と呼ばれたそうです。石畳を登っていくと途中右手に小禄ノロ殿内(ウルクヌドゥンチ)前にある拝所『ノロ火の神(ノロヒヌカン)』へ続く入り口があります。小禄ノロの住んだヌドゥンチに祀られた火の神(ヒヌカン)は、たいへん権威が高かったそうです。そう長くはない道ですが、ノロがこの石畳道を登り御嶽へ向かっていく光景を想像するととても神秘的に感じます。また、石畳は戦前のもので、明治時代の石畳も現存しているとのこと。歴史を感じてみたい方、ぜひぶらっと歩いてみてください。



ヌールガー跡(小禄ノロ専用のカーだった)

神通の途中右手には「小禄ノロ火の神」が祀られている小禄ノロ殿内(ウルクヌドゥンチ)

ノロさんがカウンセリングしてくれるそう